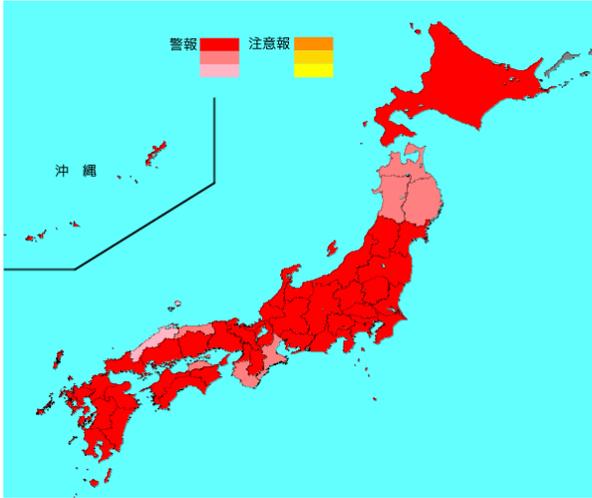


# 新・こどもと健康

No.25

2019.2.1

## インフルエンザ警報発令中



2019年1月14日から20日までの週の定点当たりの報告数(報告医療機関で1週間にインフルエンザと診断した平均患者数に当たります)は53.91で、都道府県別では愛知県(81.86)、埼玉県(70.03)、静岡県(69.42)、茨城県(68.05)、福岡県(67.18)、高知県(66.00)、福井県(65.66)、千葉県(64.29)、岐阜県(62.10)、大分県(60.53)、群馬県(58.86)、長野県(58.09)、神奈川県(57.02)、滋賀県(57.02)、鹿児島県(56.77)、熊本県(56.03)、石川県(56.27)などとなっています。大阪府で同46.09、堺市は52.45であり、いずれも警報レベルです。

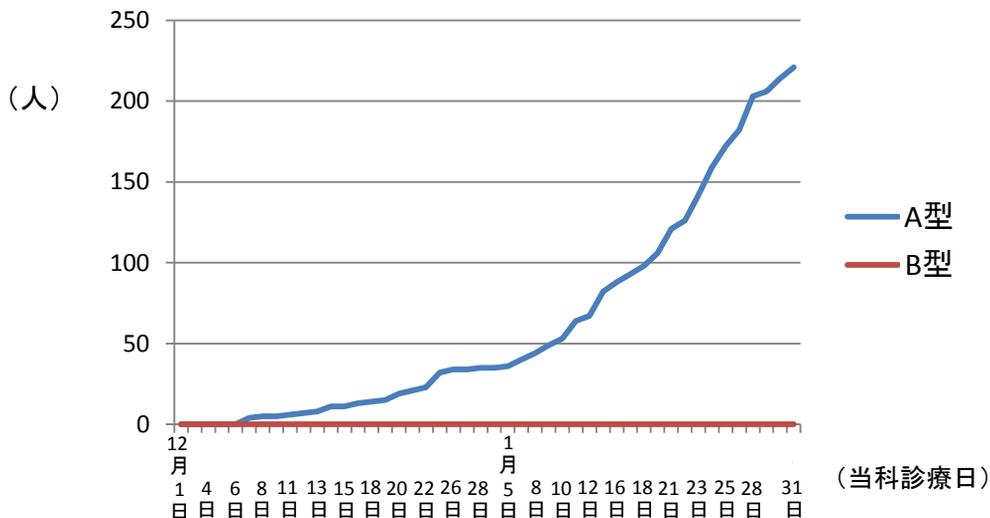
2019年1月7日から13日までのインフルエンザで医療機関を受診した患者数の推計は約163.5万人、1月14日から20日が同約213.0万人です。2018年9月3日以降の累積の推定受診者数は約541.5万人なので、この2週間で約7割を占めており、いかに急激に増えているか分かります。

1月20日までの5週間の国内でのインフルエンザの検出状況を見るとAH1pdm09(2009年にパンデミックと大騒ぎした、いわゆる新型)、AH3亜型(いわゆるA香港型)、B型の順とあります。

(出典: 国立感染症研究所 感染症情報センターHP『インフルエンザ流行レベルマップ2019年1月23日現在』)

## 当科のインフルエンザの流行状況について

2018/19シーズンのインフルエンザは当科では2018年12月7日から確認され、12月中に全員A型で35名でした。1月もA型ばかりで186名おられ、累計は221名になっています。AH1pdm09(いわゆる新型)と思われます。

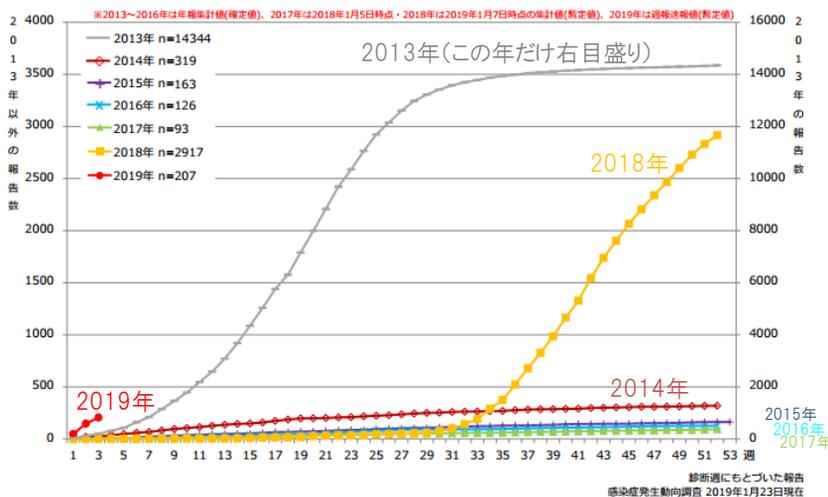


## 堺市は4月1日から18歳まで子ども医療費助成制度の対象に

所得制限はなしで、平成13年4月2日から平成15年4月1日生の方が申請が必要で、1月下旬に申請書と手続きの案内を送付とありますが、届いていますでしょうか？

(出典: 堺市HP『平成31年4月1日から子ども医療費助成の対象者を18歳まで拡充します』)

## 風疹のその後



(出典:国立感染症研究所HP『風疹 感染症発生動向調査 2019年1月7日現在』、同 感染症疫学センターHP『風疹流行に関する緊急情報:2019年1月23日現在』、大阪府感染症情報センターHP『風しん情報2019年1月31日更新分』)

全国の風疹の2018年の累積患者は2,917例とでした。2019年に入ってから1月20日までの速報値で既に207例となっています。

大阪府では、風疹の報告数が2018年累計で123例でした(2017年1年間の累計は10例でした)。2019年に入ってから27日までで25例が報告され、拡大中です。

## 三重県の麻疹ワクチンをほぼ受けていない団体に麻疹集団発症 うち一人が1月6日京セラドームや隣接商業施設へ。

三重県津市のミロクコミュニティ救世神教が平成30年12月23日から30日にかけて自施設で開催した研修会の参加者の中に麻疹患者が1名いました。すると、平成31年1月に入って麻疹を発症する人が続出し、研修会参加者49名中29名が罹りました(二次感染)。全員10歳代から20歳代で、罹患した29名のうち、公表されている三重県内の患者24名の中で20名がMRワクチンを1回も打っておらず、残る4名も1回でした。厚生労働省による2016年度の三重県の麻疹ワクチンの接種率は第1期が99.0%、第2期が94.3%ですので、どういう集団かは察してください。

二次感染者29人中の1人が1月6日に京セラドームでAKB握手会に参加し、さらに隣接するイオンモール大阪ドームシティを利用していたことがわかり、報道されました。1月5日には咳嗽や鼻汁があり、麻疹としては人に感染させうる状態でした。滞在時間は約9時間半で、かなりの人数が同じ空間にいたこととなります。麻疹は相当大的な空間でも必ず感染し、必ず発症する力があります。

1月5日 咳嗽、鼻汁あり  
1月6日 9時頃 近鉄電車(大阪線)、阪神電車(なんば線)で三重県から京セラドーム大阪に移動  
京セラドームで開催されたイベントに参加、隣接するイオンモール大阪ドームシティを利用、21時頃 往路と同じ経路で帰宅  
1月8日 発熱、発疹、結膜充血  
1月10日 麻しんと診断される

津市の二次感染者から、家庭や学校、病院内などでの接触により、三次感染者、四次感染者が出てきていて、三重県内の集計で二次感染者以降で合計48名になっています。

大阪府での麻疹は2019年に入って1月27日までに既に26例報告されています。先のイベント参加者がどこまで影響しているかはわかりませんが、大阪府で2018年の累計は19例でしたので、急増してきており、大阪府から注意喚起が出されています。生後6か月頃からMRワクチンの1回目が終わって免疫ができるまでの2週間後頃までと、28歳位から41歳位までが感染のハイリスク群です。感染を予防するには、ワクチンしかありません。

(出典:三重県HP『麻しん(はしか)患者の発生について』、同 報道発表資料『1月10日～30日 麻しん(はしか)患者の発生について 第1報～第17報』、同『※麻しん患者の発生状況(H31.1.8～1.30)』、大阪市HP『麻しん(はしか)患者発生に伴う注意喚起について』、厚生労働省『麻しん風しんワクチン接種状況について』、大阪府感染症情報センターHP『麻しん情報2019年1月31日更新分、風しん情報2019年1月31日更新分』、大阪府HP『大阪府内で麻しん(はしか)の報告数が急増しています。』、東京都健康安全研究センターHP『麻しん Q&A』)

## 麻疹風疹(MR)ワクチンの定期接種を受けましょう

最低限、1歳以上2歳未満の第1期と、小学校就学1年前の学年、いわゆる年長さんの第2期の定期接種対象の方で、未接種なら、なるべく早めにMRワクチンを受けましょう。年長さんの第2期は3月31日が締切です。今年3月31日は日曜日ですので、実質30日(土)までに未接種の方は忘れずに受けてください。

2月・担当医の変更

2日(土) 片桐→赤澤  
5日(火) 赤澤→片桐  
23日(土) 片桐→赤澤